

# css を使った Web ページレイアウトのマ ニュアル化について

森下 優

## 目 次

1	序論	1
1	1 テーマ	1
2	2 対象者	1
3	3 CSS の現状	2
4	4 現在ある教材	4
5	5 結果	6
2	本論	7
1	1 動作環境	7
2	2 マニュアル化の規模	7
3	3 製作における重視する点	7
4	4 マニュアル化の構成	8
5	5 レイアウトの解説	8
3	結論	17
1	1 他者の評価	17
2	2 自分の評価	18
3	3 今後の改善点	19

## 1 序論

### (1) テーマ

大谷大学人文情報学科の福田ゼミでは、「人の役に立つ Web サイトを作ろう」をテーマに掲げ、卒業制作及び卒業論文の執筆を行う。

今回、私は「css を使った Web ページのレイアウトのマニュアル化について」というテーマを決めた。

卒業制作では、テキストに構造や修飾情報などを追加しコンピュータが読み込み可能にする、HTML( HyperText Markup Language )<sup>(1)</sup>ファイルと HTML で指定したデザインの機能を実現させる、css( Cascading Style Sheets )<sup>(2)</sup>ファイルを組み合わせたレイアウトのマニュアルを作成した。ユーザーが両ファイルをコピーし、HTML ファイルの内容である文章や画像を入力することによって、Web ページが完成できるという仕組みである。

### (2) 対象者

css に関して初心者である人文情報学科の 1 回生や、css に関して基礎知識を備えている中級者で、css ファイルを一から作る時間の無い人や、一から作るという作業の手間を省きたいと思う人を対象とする。

人文情報学科の 1 回生達には css を学習する前にこのレイアウトのマニュアルを使用して見て、HTML ファイルと css ファイルを組み合わせると、どういう Web ページになるのかという全体の概要を掴んでもらう。

css の初心者には HTML ファイルと css ファイルの組み合わせのレイアウトで、「Web ページが作成できない」という悩みを、このマニュアルを使用することで改善させる。

—css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について—

css ファイルを一から作る時間の無い人や手間を省きたいと思う人にとって、一から作らなければならない手間を省き、シンプルなタグ<sup>3</sup>だけで手早く Web ページが完成するというこのマニュアルを使用することにより、時間の有効活用を実現させ、より中身の濃い Web ページを作成可能にさせる。

### (3) css の現状

css とは、Web ページ上における色、フォントのサイズ・種類・太さ、ページまわりの余白、画像の配置位置など、Web ページ全体のデザインを指定し、文章に視覚表現を与えるものである<sup>4</sup>。一貫した HTML ファイルの記述をしているならば、一つの css ファイルで複数の Web ページのデザインを一括して指定することが可能である<sup>5</sup>。Web ページ全体だけでなく、タグを指定すると見出しや段落に背景色を塗ることも可能となる。そしてスタイルを HTML ファイルで直接指定するよりも、css ファイル内で指定することにより柔軟で表現力も高まるので<sup>6</sup>、とても便利で効率的なものである。

現在、主流になっている Web 標準。

大藤幹「Web 標準とはなにか？」<sup>7</sup>によると、

Web 標準とは、W3C をはじめとする国際的な標準化団体によって策定された、Web 関連の技術仕様やガイドラインなどを指す。英語では「Web Standards」と表現されているが、直訳して「Web の標準規格」と言った方がピンとくるかもしれない。

(中略)

しかも、それは Web 製作者側だけの話ではなく、クライアントやユーザーにとっても多くのメリットが生じることになる。しかし、

—css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について—

Web 標準に準拠したサイトは現時点ではまだ少数派である。では、なぜ Web 標準は一気に普及していかないのだろうか？

Web 標準とは、主に国際的な標準化団体が規格化した Web 関連の技術仕様のことをいい、Web デザインにおいて Web 標識の認識は、HTML ファイルと css ファイルを基準とする製作手法である。

Web 標準でサイトを構築をすることで、より検索エンジンに読み込まれやすいサイトになり、SEO (Search Engine Marketing) 対策<sup>(8)</sup>に役立つのである。SEO 対策ができていれば、ユーザーに自分の Web ページが閲覧される回数が増えるので、HTML ファイルと css ファイルを基準とする Web 標準を活用すべきなのである。

Web 標準は、最近出始めたものではなく、Web ページやワープロソフト、DTP ソフトにも利用されているほど以前から利用されている。

では、なぜもっと当たり前 Web 標準は使われないのか。

最も大きき要因として挙げられる点が、環境要因である。Web ブラウザが Web 標準に十分なサポートがなかったため、HTML ファイルだけでデザインできるテーブルレイアウト (テーブルを入れ子にして制作する手法) が主流になってしまい、今現在に至っている<sup>(9)</sup>。数年前から、全て css ファイルでデザインされているサイトはあったが、未だにテーブルレイアウトでデザインされているサイトもよく見かけるのはそのためである。大谷大学のホームページ<sup>(10)</sup>もテーブルレイアウトで作成されているが、テーブルレイアウトは幾つかの問題点が発生してくる。テーブルレイアウトでデザインすると、Web ページの処理が多くなりブラウザでの表示が遅くなってしまふ。そのうえ、ソースが長く煩雑になるのである<sup>(11)</sup>。

別の原因として挙げられる点は、css ファイルは互換性<sup>(12)</sup>に気をつけ

て作成しなければならないので、初心者にとっては、苦労してまでわざわざ css を学んで使用するよりも、テーブルレイアウトを使用したほうが簡単である、と思っている人が多い。

次に原因として挙げられる点は、Web ページは誌面のように一枚一枚デザインを作らなければならないという誤解があった。現在、Blog の流行やアクセシビリティの配慮（Web ページ内で利用のしやすさ）<sup>(13)</sup>により、Web アクセシビリティに対する注目が集まっている。

最後に原因として挙げられる点は、css についての情報が、膨大に溢れかえっている。現在 css について、個々の詳細について説明するホームページや書籍は膨大にあるが、css ファイルで作られた一枚の HTML ファイルをそのままユーザーがすぐに使える、というような教材は無い。故に、css を知らない人、今ひとつ掴めない人が、インターネット検索や書籍を参考にして、HTML ファイルと css ファイルを使って Web ページを作成しようと思っても、理解する前に css について勉強することを諦めてしまい、結局わからないままとなってしまう。どの情報を活用していいのか、さらにはどの情報を自分が必要としているのかがわからず、それを突き止めるところまで達することなく、諦めてしまうユーザーが多いのである。

#### (4) 現在ある教材

##### (i) CSS による Web デザインカスタマイズガイド

HTML の次期バージョンで、文書構造を定義するマークアップ言語のみを目的とした XHTML (eXtensible HyperText Markup Language)<sup>(14)</sup>と CSS の基本を、デザイン指定したサンプルを用いて構造が理解するように解説している教材である。HTML の文書構造を変更しないで、

—css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について—

css ファイル内で同様の設定を指定するカスタマイズガイドである。

しかしながら、Web ページ一枚全体を表記しているものではなく、個々のサンプルを繋ぎ合わせて一枚の Web ページを作らなければならない。この作業は、css の知識がある程度ある人でないと、出来ない。反復して学習していくカスタマイズガイドであり、すぐに実践できる教材ではない。

(ii) CSS ビジュアルデザイン・メソッド - 技術の体系化と要素のモジュール化によりデザインプロセスの効率化を実現する「CSS バリューデザイン」

デザインする際に、作業内容をルール化したり、デザインの技法をシステム化にする。そして製品で構成されている内容と、機能的に独立した幾つかの構成要素群を集約した教材である。

作成していた Web デザインの設計を効率化するとともに、テーマに応じたバリエーションを製作しやすくする「メソッド<sup>(15)</sup>」を解説してある。デザインのプロセスを自動化・効率化し、クオリティの向上させることが可能である。Web デザインの工程を「価値工学<sup>(16)</sup>」の視点から捉えている。

しかしながら、HTML と css について初心者レベルの人にとって理解することは困難であり、css の初心者が読む教材ではない。css のデザインをテンプレートにて活用したい場合に参考にする教材ではない。

(iii) スタイルシート & Web 製作 知識とルール総まとめ

「Web creators」の「すぐに使える CSS デザインテクニック」と「Web レイアウトのネタ帳」を一冊にまとめた教材である。それぞれの特集がまとまっているのでこの教材を参考にすると内容を迅速に理解できる。

—css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について—

しかしながら、一から css を勉強していく教材の一環で、見てすぐに Web ページを作成できる教材ではない。

#### (iv) スタイルシートサンプル&リファレンス

実際のサイト制作ですぐに活用できるリファレンス・ブックである。約 270 個のサンプルや、css ファイルのレイアウトに必要な情報の解説、拡張<sup>(17)</sup>方法が掲載している教材である。

約 270 個という豊富なサンプルがあるが、一ページ全体に完成している HTML ファイルと css ファイルを組み合わせで紹介している教材ではなく、ユーザーが一つ一つの css を繋ぎ合わせなければ Web ページが完成しない教材である。css の初心者がこの本を参考にしたとしても基本知識を先に学んでいないと実際に利用することができない。

#### (v) Web 標準ワークフロー XHTML+CSS による Web サイト制作を制作現場の視点で考える

XHTML ファイルと css ファイルを組み合わせた Web サイトは、決まりきった指定をすることにより完成する。この教材は Web 標準に対応した Web サイトの制作において発生する問題と、その対策や解決策を述べている。本の大きさも価格も実に買いやすくなっており、css の基礎や文法が理解しやすい。

しかしながら、すぐに Web ページを作りたいと思っている人の為の教材ではない。

#### (5) 結果

この結果からわかったことは、完成された HTML ファイルと css ファイルを自分の Web ページとして使用するために、コピーして HTML ファイル内の文章内容を入力し簡単に作成できる教材はなかった。現在



—css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について—

あるものは、css の基礎知識や css の用語集、そして短編的な css でのレイアウト集などであり、css を一から学習しなければ使えない、というものであった。

もし、HTML ファイルと css ファイルが組み合わせられたレイアウトが一ページ全体として完成しているマニュアルとしてあったのならば、どれだけユーザーは、Web ページ製作での時間を短縮できるのか。そして余った時間を HTML ファイルの内容に費やすことが可能となり、充実させた Web ページが完成できるだろうか。

## 2 本論

### (1) 動作環境

HTML と css を使用しているので、Windows のブラウザやエディタで動くようになっている。

### (2) マニュアル化の規模

マニュアル化の対象は初心者、及び中級者なので、css の基礎レベルで作ったレイアウトページを作成した。しかし、基礎の中にも少しの工夫で、凝ったレイアウトに見えるような css の組み合わせをした。

### (3) 製作における重視する点

ユーザーは実際にこのマニュアルを使って css ファイルの概要を掴み、css ファイル内で指定した内容、例えば色・フォント・余白・幅などを自分仕様に変更する。そして自分自身でも初めから Web ページを作成する。このマニュアルが css 全体の概要をつかめるきっかけとなり、css を身近に感じられるきっかけになることを、重視する。

#### (4) マニュアル化の構成

- ・ 文字のデザイン
- ・ 見出しのデザイン
- ・ ページの余白
- ・ 画像のデザイン
- ・ ページを分割、段落をつくるデザイン
- ・ リンクを指定するにあたって。
- ・ 箇所書きでのデザイン
- ・ スクロールバーのデザイン
- ・ 印刷時のデザイン

まず HTML ファイルでトップページを作り、マニュアルの利用方法を説明した。

次に同じトップページの中央に、HTML ファイルと css ファイルを組み合わせで作成したテンプレートの項目を作った。そして、その項目の右隣に css ファイルで指定しているレイアウト内容を表記したページを作成した。

それぞれの HTML ファイルと css ファイルをコピーして、HTML ファイルの内容をユーザー仕様に入力し直すと、Web ページが出来上がるという仕組みである。

#### (5) レイアウトの解説

##### (i) Top ページ

###### Web ページ間の移動

現在見ている Web ページから他の Web ページに移動できるよう、メニューを作成することにより、Web ページ全体を使用しやすくなる。

Web ページ内のトップページからサブページ、またはサブページからトップページにリンクを張るだけではなく、サブページ間にもリンクを張ることにより移動しやすくなる。この指定をしないと、一枚の Web ページに全ての情報を書きつらねないといけなくなり、Web ページが長くなってしまう。長い Web ページは、ユーザーは最後まで見ない可能性が高くなるので Web ページ間の移動を指定することは大事である。

## (ii) テンプレート

まず、テンプレート は、基本レイアウトでまとめたページに仕上げた。

項目として、以下を挙げる。

css で大見出しと小見出しを飾る。

背景色と文字色を組み合わせ、大見出しの文字を白抜きのように表示させた。背景色と文字色を組み合わせることにより、見出しの文字が白抜きのようにデザインされる。

太字や斜体に文字を変更させた。テンプレート を使用中級者にとって、単純で物足りないのではと感じたので、文字の白抜きを使った。それには、css がまだあまり知られていなかったとき、文字の白抜きは、表を作り表現するしかなかったからである<sup>(18)</sup>。しかし、css ファイルで指定すると、見出しを帯のような形に変更させることが可能なので、作成した。

HTML ファイル内の特定の語句にカラーを付ける。

語句の装飾の指定をし、語句を飾った。それにより語句が他の語句よりも強調されるのである。

—css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について—

ページのまわりの余白や段落の文頭の字下げをする。

ページの左右に余白を空けると、ページ全体が見やすくなるので、デザイン指定をした。

リスト作成

ユーザーが項目を挙げたリストを見ることにより Web ページ全体が把握しやすくなるのでリストを作成した。

画像の周りに文章を回り込ませる。

写真の画像を貼り付けると、大きな空白が空いてしまう。その空白を有効に利用するために、画像の周りに文章を回り込ませた。それにより、周りの空白を有効に使うことが可能となる。

回り込みを設定すると、画像と文章がひっついて見える。それを回避させるために、画像のマージン (画像の外側に挿入される余白) を指定し、画像と文章の空間をバランスよく保たせるために指定した。

テンプレート の css を利用することによって、Web ページ内の画像と文章の見栄えが良くなる。ホームページなど、デジタルカメラで撮った写真を使用する際も、活用可能である。もし、回り込みの必要が無ければ、画像だけを入れた段落と文章の段落を単純に上下に並べる方法もあるが、Web ページ全体が長くなってしまいユーザーは最後まで閲覧しないで終わってしまう可能性が高くなるので回り込みの指定は大事である。

枠線をつける。

枠線を色のついた四角い枠で囲むと、小見出しが目立つ。見出しを四角い帯状に見せる方法として、枠線を使った。なぜなら枠線は、デザイン工夫を凝らすことができるからである。例えば、solid(実線)、double(二重線)、dashed(破線)、groove(へこんだ線)、dotte(点線)、ridge(盛り上

がった線)、inset(全体がへこんで見える線)、outset(全体が盛り上がって見える線) など、8種類もの表現方法がある。none と指定すると、枠線は消える。

#### リンクのデザインの変更。【マウスオーバー】

リンクとは、Web ページと Web ページを繋ぐ要素である。リンクを貼ることにより情報が引き出せ、ナビゲーション情報を記述することができるのである。このリンクのデザインを変えたり、一度押下したリンクの色を押下していないリンクの色とを変更させる指定をするだけで、Web ページは使いやすくなる。

また、マウスポインタをリンクの指定しているところに合わせた際に、色を変えるたり、太字になるように設定することにより、動きのある Web ページになるのである。

#### リンクの文字色を変える。

一度押下した、押下していないを表す大事な設定である。これを設定することにより、自分の Web ページに訪れてくれた人が同じリンク先を何度も見てしまう、という間違いを未然に防ぐことが可能となる。

css は使い過ぎてしまうと見やすいページでは無く、反対に見にくいページになってしまうので、常に全体のバランスを意識するということに気をつけなければならない。しかし、動きのある Web ページに仕上がるほか、JavaScript を使うよりもはるかに簡単である<sup>(19)</sup>。

#### 場所を指定してリンクさせる。

他ページの特定の場所へリンクさせる。このことにより内容の詳細をすぐに関連することが可能となる。そして同じ項目をまとめることでまとまりのある Web ページが作成できるのである。

——css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について——

Web ページの背景に画像を敷く。

背景画像を敷くことで、Web ページに動きを加えたり、他の Web ページとの差別化を図ることが可能となる。その際、Web ページの中身の邪魔にならないように気をつけなければならないが、画像の色や文字の色のコントラストをバランスよくすることで印象強い Web ページが作成できる。

背景画像を一つだけ表示させる。

css には、背景画像の繰り返しを決める設定もあるが、一枚だけを表示させる設定を行うと、Web ページの中に一枚だけ背景画像を表示させ、模様などの画像にする必要は無く、写真やイラストを背景に敷くことも可能となる。

背景画像を動かないよう固定する。

Web ページの背景に画像を敷く際と同様、Web ページが見にくくなるということにはなってはならないが、背景画像を固定すると、Web ページをスクロールした際に画像の上を文字が滑っていくような効果を得られるので指定した。

背景画像は、css の設定の中でも重要な役割を占めている。背景画像を上手に活用することで、Web ページ全体の見栄えがよくなる。

### (iii) テンプレート

テンプレート は、テンプレート のレイアウトを活用し、さらなるレイアウトを追加した。

css は、色やフォントを変更するだけでなく、Web ページのレイアウトを組み立て、分割して“段組み”という画面構成を作成することができる。現在、インターネット上には段組みを使用した Web ページが主流である<sup>(20)</sup>。例えば、リンク先のメニュー項目を四角い枠の中に並べ

—css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について—

で段組みを使い、Web ページの左右どちらかに一つの段として設定すると、その Web ページを訪れた人はリンクを押下しやすくなる。さらには、同様のレイアウトのメニューを違うページにも指定すれば、複数間の Web ページを移動可能となる。段に合わせ、レイアウトを変更できるので、活用すべき css ファイル内での指定項目である。

指定した項目として、以下を挙げる。

Web ページをブロックに分ける。

ユーザーは量が多い Web ページを目にしたとき、読まないか斜め読み、もしくは時間のあるときに再読するなど、Web ページ全体を読む可能性が低くなる。しかしブロック分けをし、適度なスペースや長さを調節させれば、ユーザーは Web ページ全体を読む可能性が高くなる。ブロックに分ける内容を同じ要素や機能の部品でまとめることで、Web ページの印象の向上につながるのだ。

段組みを作成する。

ブロックに分けた div タグを、float で段組みを指定することにより、ブロックが左側に寄せたり右側に寄せたりできる。段組を指定することで、内容の把握や操作性の向上につながるのである。

それぞれの小見出しにそれぞれのデザインを指定する。

css では、同じデザインで統一するというのが基本ではあるが、小見出しのデザインを変更したいというとき、クラスという指定をする。指定内の色や大きさを変更することによりそれぞれのデザインが完成し、一部のタグを強調したり自分好みのレイアウトが完成するのだ。

ブロック内のデザインを指定する。

Web ページをブロックに分け、メニューブロックを段組みにした後、メニューのデザインを背景色や枠線をつけて目立たせて整えた。本文用

のブロックとは別のブロックであると、認識さすためである。

特定のリンク色を変更する。

タグだけでなく、リンクのレイアウトも変更できる。リンク色を変更することにより、リンクが押下されやすくなる。

箇所書きの行頭を画像に置き換える。

箇所書きの行頭を好きな画像に置き換えることができる。画像を使い、リストを飾りつけた。自分で画像加工ソフトを使い、色付きの記号を作る。あるいは素材を提供している Web ページから「アイコン画像」を探す。それに、HTML ファイルにタグで画像を指定しなくても css 機能は自動的に並べることが可能なので便利である。

Web ページに段組みのレイアウトを指定し、リンクをブロックとしてまとめたメニューを目立つ位置に置くことで、Web ページ全体が使いやすくなる。しかし、段組みは css のボックスモデルを十分に理解しなければ利用不可能であり、css の機能を高度に使いこなす必要性がある。

だからこそ、このテンプレート の HTML ファイルと css ファイルのレイアウトをコピーし、自分仕様に入力し直すだけで、簡単に使用することが可能となるテンプレート を作成した。このテンプレート を利用することにより、ユーザーにとって効率のよい Web ページを作成させることを可能とする。

#### (iv) スケジュールとメールフォーム

表の装飾ページを作成した。

指定した項目として、以下を挙げる。

枠線の種類、色、太さ

表全体や表の各セルを囲む枠線の色や種類、太さを指定した。それにより、表が見やすくなる。



——css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について——

#### セルの色

セルの背景に色を塗り、他のセルと区別させることが可能となる。

#### セルの配置

セルの中に表示させる文字を左端揃えや中央揃えに指定することで、より Web ページは見やすくなり、Web ページ全体に統一感がでる。

#### 表の枠線の表示形式

セルとセルの間の枠線をつなげると、Web ページを閲覧したときに見やすくなる。

#### 入力フォーム欄の文字色

入力欄に文字を入力した際に文字色を変更するように指定することにより、入力している文字の強調が可能となる。

#### フォームの入力欄の背景色

入力欄に背景色を指定することにより入力させる欄を目立たせることが可能となる。Web ページ全体のデザインとフォーム内にある、入力欄の色のバランスを保つことにより、入力する場所がどこなのか、すぐにわかるのだ。

#### 入力フォームの入力欄の枠線

入力欄を囲む枠線の色を指定した。入力フォームは、文字色や背景色、枠線でデザインすることにより、どこに何を入力すべきなのかがひと目でわかるようになるので指定するべきである。

#### (v) テンプレート

テンプレート とテンプレート で、css を使って Web ページを使用できる。

次に css レイアウトを楽しみ、独自のアピールが出来るようなユニークなレイアウトを作成した。

指定した項目として、以下を挙げる。

文頭の一文字目のレイアウトを変更する。

最近よく書籍や雑誌で見られる、段落の一文字目の文字サイズを大きくする方法を、css ファイルで設定できる。どんなプロパティにも指定できるので、便利で活用的なレイアウトなので指定した。

箇所書きの行頭のレイアウトを変更する。

便利な別の指定方法、リスト用のプロパティがある。リストの項目の前に表示させる記号の種類を多様に変えることができるのである。これによりすっきりとした Web ページに見え、見栄えがよくなるので変更させた。

ブラウザのスクロールバーのレイアウト

使用する色によっては見にくくなるが、この指定を行うとスクロールバーのレイアウトがいろいろ工夫でき、凝った Web ページが作成可能となる。

ボックスにスクロールバーを付ける。

この指定をすることにより、通常のボックスにスクロールバー付きのボックスになる。例えば、文章が長文の際などにこの指定をすると、よいだろう。しかし、スクロールしないと見られないので、重要な文章を記入している場合などは、避けるべきである。なぜなら、読まれない可能性が出てくるからである。その点に気をつけることで、まとまりのある、整理された Web ページになる。

印刷時にメニューのブロックをなくす。

印刷時のレイアウトを変更する指定がある。ブログ風テンプレートでは、メニューのブロックを印刷させない方法を使用した。この指定をすることにより、画面上の表示が整って飾ってあるページが紙に印刷する

と読みにくくなってしまうのを防ぐことができる。

印刷時に見やすいデザインにする。

印刷専用の css ファイルを作成することにより、印刷では unnecessary デザインを切り分けるという、もう一つ指定しなければならない操作が省くことが可能となる。

(vi) テンプレート

ブロックにわけ

段組を作る

ナビの文字色を変える

(vii) テンプレート

ブロックにわけ

段組を作る

ナビの文字色を変える

### 3 結論

(1) 他者の評価

2006 年 12 月 18 日、同じ人文情報学科の学生 3 人と知人 2 人に協力してもらい、自分が作成したマニュアルを使用してもらった。そして、HTML ファイルと css ファイルを使用した結果のアンケートをとった。協力してもらった人文情報学科の学生 3 人は、css に関して中級者レベルであり、残りの知人 2 人は、初心者レベルである。

人文情報学科の学生 3 人からとったアンケート結果は、わざわざから作る手間が省け、簡単で使いやすい。そして、見本の HTML ファイルと css ファイルがあるので、「どこ」に「何」を入れたらいいのか、見本に沿って入力していくと Web ページが作成できるので、役に立つマニュアルであるという感想を得ることが出来た。見本の css ファイルを

—css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について—

利用して、更なるレイアウトを作成した学生もいた。その学生からは、レイアウトの基本があるので、自分好みの色や、サイズ、画像を指定し、変更するだけで Web ページが完成するのは便利である、というアンケートを得た。

そして知人の初心者 2 人からとったアンケート結果は、使用方法を指示する人間が近くにいるならば、マニュアルは使用できるが、一人で使用するならば、Web ページが完成するかどうか不安であるという感想を得た。なぜならば、基本の知識が全くなく、HTML ファイルと css ファイルのソースを見るということも初めてであったため、「どこ」に「何」を入れたら良いのかが分からなかった、とのことだった。知人の初心者 2 人は、ブログは使用しているが、サイト内のブログを使用しており、書き込みたい内容を書き込むスペースに入力するだけなので、今回の Web ページ全体を作成するマニュアルに戸惑ったのである。HTML ファイルのどこに文字を書き込むと、どのように Web ページ上で表示されるか、などが分からなかったためである。知人の初心者 2 人は時間が少々かかったが、マニュアルを参考にし、Web ページを作成することが出来た。

## (2) 自分の評価

「css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について」を作成してみて、もっと詳細にこのページはどういう指定をしているのか、という説明を入れなければならないと感じた。HTML ファイルの内容を、ユーザーの書き込みたい内容に変更するだけで、完成すると考えてはいたが、実際、自分が製作に取り掛かった際に基本の css の知識を勉強したからこそ、HTML ファイルのソースの変更しなければならない

部分があったのであって、もし css の初心者や全く css を知らない人が、このレイアウトのマニュアル化を見て利用しようとしたとき、今回作成したマニュアルで説明している内容だけですぐに利用できるのかどうかと疑問を感じた。現にアンケート結果から初心者で使用してもらった際に、時間がかかってしまったからである。後ろで私が指示しながら、Web ページを作成することは可能だが、一人で作成するとなると完成させることが不可能だったのかもしれない。

さらには、レイアウトのマニュアルの数も、時間が足りなかったために、当初計画していた数よりも少なくなってしまった。これでは、ユーザーは満足する人もいれば満足しない人もいるだろう。

だからこそ、今回の「css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について」は、今後たくさんの css についての初心者たちに css に簡単に触れることができ、次第に css の概要を掴む、という架け橋となるためにも、まだまだ改善していく必要がある。

### (3) 今後の改善点

#### (i) 解説方法

このマニュアル内にある HTML ファイルと css ファイルは、ページごとに HTML ファイルの使い方の大まかな解説はしてあるが、css ファイルにおける細かい解説はしていないために、全くの初心者が使用すると、解説が足りなく使用しづらく時間がかかってしまう。他の教材を片手にしないとイケない可能性も出てきた。中級者が使用する際にも、解説がもう少し入っていれば、Web ページを作成する時間がさらに短縮あれ、もっと手軽になっていたに違いない。

故に、丁寧に解説を増やせば、もっと便利になり、人に役立つマ

マニュアルとなるだろう。

(ii) マニュアルの数

マニュアルは、全部で 5 つ作成した。初めの段階でマニュアルの数を、もう少し多く作成する予定だったが、時間が足りなく 5 つになった。初めの 2 つは、初心者用であり、残りの 3 つは中級者用に作成した。マニュアルのレイアウトは、似たものに固まらないように気をつけ作成はしたが、中級者にとっては便利なのでもっとたくさんのレイアウトがあって欲しいとの要望があった。

故に、マニュアルの数を増やすようにしたい。

(iii) 最後に

制作現場で主に使われている DreamWeaver がバージョンアップをするたびに、css への対応はさらに改良されていき、css が身近なものになってくるだろう。現在は全て css でデザインされた企業サイトも数多くある。今後、Web 標準の需要が高まるにつれて、css でデザインされる機会は、ますます多くなっていく。<sup>(21)</sup>この機会に css を利用していなかった人も、このマニュアルを使うことによって HTML と css の組み合わせる Web ページの構造に慣れていき、さらには自分で Web ページが作成できるような力がつくようになってほしい。

注

- (1) 株式会社エムディエヌコーポレーション「CSS レイアウトメリット」『web creators』2006 年 11 月号,p50
- (2) 大藤幹「CSS」『Web Designing』2006 年 3 月号,p91
- (3) 文章構成をコンピュータに理解させる、要素専用の「しるし」
- (4) 佐藤和人&できるシリーズ編集部『できるホームページスタイルシート入門 Windows 対応』2004 年 12 月 21 日発行,p24
- (5) 佐藤和人&できるシリーズ編集部『できるホームページスタイルシート入門 Windows 対応』2004 年 12 月 21 日発行,p27
- (6) 株式会社エムディエヌコーポレーション「CSS レイアウトメリット」『web creators』2006 年 11 月号,p56
- (7) 大藤幹「Web 標準とは何か？」『Web Designing』2006 年 3 月号, pp.86-87.
- (8) サーチエンジンの上位に自分の Web ページが表示されるように工夫すること。また、そのための技術を言う。
- (9) 大藤幹 2006 『Web Designing-Web 標準にまつわる素朴な疑問 Q & A』2006 年 3 月号, p.93.
- (10) 大谷大学：<http://www.otani.ac.jp/>
- (11) Matsumoto school 2006 「テーブルによるレイアウト (非推奨)」<http://www.humanite.jp/~monka2004e/chapter4/3.html>  
『WEB デザイナー養成 e ラーニング』更新日 2005 年, 確認日 2006 年 12 月 21 日
- (12) コンピューターの異なる機種間で、ソフトウェアを修正なしに使用できること。
- (13) 株式会社エムディエヌコーポレーション「css とユーザビリティ・

—css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について—

- アクセシビリティ」『web creators』2005 年 5 月号,pp150-151
- (14) 株式会社エムディエヌコーポレーション「HTML XHTML 乗換ガイド」『web creators』2006 年 11 月号,p50
- (15) 各オブジェクト(「データ」と「手続き」)が持っている、それ自身に対する操作のことであり、メソッドは「手続き」のことである。
- (16) 顧客の要求する機能を満たす商品を提供するための最低のコストを実現するための方法。
- (17) ハードディスクにアクセスする際に使用する命令。
- (18) 佐藤和人&できるシリーズ編集部『できるホームページスタイルシート入門 Windows 対応』2004 年 12 月 21 日発行,p77
- (19) 佐藤和人&できるシリーズ編集部『できるホームページスタイルシート入門 Windows 対応』2004 年 12 月 21 日発行,p112
- (20) 株式会社エムディエヌコーポレーション「使いやすさ、見やすさを実現する 40 の技」『web creators』2006 年 9 月号,p38
- (21) 株式会社エムディエヌコーポレーション「Web 標準に準拠することのメリット」『web creators』2006 年 11 月号,p49

#### 資料一覧

#### 佐藤和人&できるシリーズ編集部

2004 『できるホームページ スタイルシート入門 Windows 対応』

#### 大藤幹

2006 「Web 標準とは何か？」『Web Designing』2006 年 3 月号, pp.86-87.



—css を使った Web ページレイアウトのマニュアル化について—

国分 亨

2006 『CSS による Web デザインカスタマイズガイド』

境 祐司

2006 『CSS ビジュアルデザイン・メソッド - 技術の体系化と要素  
のモジュール化によりデザインプロセスの効率化を実現する  
「CSS バリューデザイン」』

MdN 編集部

2006 『スタイルシート & Web 製作 知識とルール総まとめ』

大藤 幹

2006 『スタイルシートサンプル&リファレンス』

COMPLEX

2006 『Web 標準ワークフロー XHTML+CSS による Web サイ  
ト制作を制作現場の視点で考える』